

平成24年9月定例会 原案可決・賛成多数

議会案第9号

オスプレイ配備と低空飛行訓練の中止を求める意見書を別紙のとおり提出するものとする。

平成24年9月19日

提出者

郡山市議会総務財政常任委員会委員長 大城 宏之

オスプレイ配備と低空飛行訓練の中止を求める意見書

米軍の垂直離着陸輸送機オスプレイは開発段階から死亡事故が多発し、また各地で墜落事故を起こすなど、未だ事故原因の究明や安全性の確認がされたとはいえない。

そのような中、沖縄普天間基地配備を目指し、7月23日に岩国基地に搬入が行われた。市街地に位置する普天間基地に、相次いで墜落事故を起こしているオスプレイを配備することは、今も危険と隣り合わせの生活を強いられている沖縄県民にさらに負担を強いることになる。

また、低空飛行訓練が本県を含む6訓練ルートで実施されることが公表され、本県では阿武隈山系縦断ルートと会津西部縦断ルートの2ルートで低空飛行訓練が行われることが判明している。

原発事故の終息の目途もつかない中で墜落の危険がある飛行訓練が行われることは本県原発事故の被災者をはじめ県民すべてを不安に陥れるものである。

よって、下記の事項について強く要望する。

記

オスプレイの沖縄普天間基地配備と国内低空飛行訓練を中止するよう米政府に申し入れること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年9月19日

郡山市議会